

2011年最初のメルマガです。現在会員登録数318人さま。ご愛読いただきありがとうございます。今年も読んでトクする話題をお届けします。昨年は、私ども財団にとりまして、新しいスタートをした激動の年でした。今年は、将来に向けて飛躍の礎を築く1年にしたいと思っています。引き続きご支援をお願いします。次号は2月22日発行の予定です／

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

【1】お知らせ

【2】コラム

- 《1》 YO!この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk
- 《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント その5
- 《3》 サイト紹介 ー子どもの本をリサーチするー
- 《4》 行って来ました!

【3】全国のイベント紹介

【4】プレゼント

【1】お知らせ

● 読書会 参加者を募集しています

「若おかみシリーズの人気の秘密をさぐる
ー著者 令丈ヒロ子さんをお迎えしてー」

児童文学作家の令丈ヒロ子さんをお迎えして、子どもに大人気の作品の魅力について語り合う、大人を対象とした読書会です。

1. 日 時：平成23年2月5日（土）午後2時～4時
2. 場 所：大阪府立中央図書館 会議室
3. 講 師：令丈 ヒロ子 さん
4. 定 員：30名（先着順）
5. 対 象：一般、読書ボランティアの方など
6. 活動協力費：1,000円
7. 課題本：『若おかみは小学生！ 花の湯温泉ストーリー（1）』
（講談社 青い鳥文庫 2003年）
課題本はできるだけ読んでご参加ください。

● 国際シンポジウム 参加者を募集しています

「絵本は国境を越えるー中国語圏の絵本の現在」

現在、中国語圏の国や地域では絵本出版状況に目を見張るものがあり、その中で日本の絵本も多く出版されています。これらの現状についてこの状況の

立役者でもある高明美さんをお迎えします。

1. 日 時：平成23年3月13日（日）午後2時～4時
2. 場 所：大阪市西区民センター 第4会議室
3. 講 師：高 明美（台湾の絵本編集者・翻訳者）
聞き手：成實 朋子（中国児童文学研究者・大阪教育大学准教授）
三宅 興子（絵本研究者・当財団理事長）
4. 対 象：一般、読書ボランティアの方など
5. 定 員：50名（先着順）
6. 参加費：一人 1,000円
7. 主 催：財団法人 大阪国際児童文学館
協 賛：関西電力(株)、近畿日本鉄道(株)、サントリーホールディングス(株)、
武田薬品工業(株)、パナソニック(株)、阪急電鉄(株)、
(株)富士通東北システムズ、ムサシ・アイ・テクノ(株)

● 寄付金を募集しています

当財団では、子ども文化の振興をめざして、子どもと本をつなぐ活動を進めています。さまざまな講座・講演会の開催など、次代を担う子どもたちの豊かな読書活動の支援のために、もっともっと充実させていきたいと考えています。

そのため、当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いいたします。

お申し込み、詳細は↓↓

<http://www.iiclo.or.jp/donation.html>

◆ 活動報告については、

当財団HP <http://www.iiclo.or.jp/> をご覧下さい／

【2】コラム

《1》 Y O ! この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

『シカゴよりこわい町』

リチャード・ペック/著 斎藤倫子/訳 東京創元社 2001年2月

あらすじ：シカゴに住むジョーイが妹のアリスとともに、祖母の家で体験したことを描いた作品。ジョーイが9歳（1929年）の時から15歳（1935年）になるまでの毎夏1週間ほどの体験が章ごとに書かれている。村はずれに住む豪胆な祖母は、村のならず者に銃を向けて懲らしめたり、禁漁区でなまずを捕って困っている人に振る舞ったりする。対象年齢：小学校高学年以上

○：この作品で話題にすべきは「おばあちゃん像」。いわゆる優しくてかわ

いいステレオタイプのおばあちゃんが延々書かれてきた中で、その正反対を行くおばあちゃんがユニーク。まず、大柄、銃を持っている、村のはずれに一人で立派に暮らしている。おばあちゃんは変化していないけど、孫は成長しているというのもおもしろかった。

Y：孫の成長という点では、1年1章という構成がうまい！そして、一番最後の章は1942年、ジョーイが22歳になって軍人として乗った列車がおばあちゃんの家の前を通るエピソードで終わっていて…。

O：ほろっとしましたね。

Y：はい。おばあちゃんが大ボラをふいて権力者やならず者たちをとっめるというストーリーも痛快でした。アメリカのホラ話の系譜を感じました。

O：ギャングスターひしめくシカゴから来たはずの孫たちが怖がるおばあちゃん。でも人情味のあるところが魅力的。

Y：それでいてちょっと何かに夢中になるとムキになる子どもっぽいところもあるんですね。例えば、フルーツパイの品評会で自分が精魂こめて作ったパイより隣の人のパイがおいしそうに見えて名札を入れ替えてみたが、結局、自分の作ったパイが優勝したりだとか。

O：これは笑ってしまった。1930年代アメリカの田舎の人々の暮らしがいきいきと描かれていて、そんな中でおばあちゃんは、嫌がられながらも一目置かれて認められている。おばあちゃんが教会へ行かないという選択もなかなかすごい。全編既成概念の転倒が見られる。

Y：そんなおばあちゃんをはらはらしながら見ているジョーイの様子もおもしろいですね。回想形式で描かれることによって、登場人物の描写に適度な距離感が生まれています。

O：妹のメアリ・アリスもなかなか個性的。平気で怖いことをしてしまう。全体として、エンターテインメント性の強い作品に仕上がっています。

Y：この作品でペックはニューベリー賞のオナーを受賞し、メアリ・アリスを主人公にした続編の『シカゴより好きな町』（2003年9月）でニューベリー賞をとりました。そして、2010年11月に『シカゴよりとんでもない町』（東京創元社）が日本で出版されました。

《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント その5

「絵本の選び方(1) おはなし会で絵本を読むということ」

おはなし会にとってどんな絵本を読むか、どんなお話を語るかは、最も重要です。そこで、今回から10回(予定)に分けて、「絵本の選び方」について書きます。

子どもたちに「この絵本、おもしろいな」と思ってもらえれば、それは絵本というものがおもしろいということにつながりますし、反対に「おもしろくない」と思われたら、絵本そのものに対する拒否感につながりかねません。数多く出版されている絵本の中からどの絵本を選ぶのかは、グループで議論を深めて選んで欲しいと思います。

絵本はもともと、1～3人ぐらいで読む空間に合うように作られています。ですので、すぐれた絵本であっても、集団で読むには長すぎたり、絵が見えなかったりするなど、必ずしも集団の子どもたちが楽しめるとは限りません。そこに、おはなし会で絵本を読む限界があります。

もちろん、集団で1冊の絵本を楽しむことは格別な楽しみがありますが、「あ、さっきのページの絵はどうなっていたかな」などと、ページを行きつ戻りつしながら読む楽しみは保証されていません。そういう意味で、おはなし会で絵本を読むことはそれで終わりではなく、おはなし会をきっかけに、子どもたちがさまざまな絵本を楽しむことを目的にする必要があります。そのため、おはなし会が終わった後、読んだ絵本を子どもたちが自由に手に取り、借りることができる環境を整える必要があるのです。(Y)

*次号では「絵本の選び方(2) 絵本とは：読んでもらうのに適している」をテーマとする予定です。
質問や意見をいただきましたら、それにお答えしていきたいと思います。

《3》 サイト紹介 ー子どもの本をリサーチするー

資料所在データベース篇、第5回目。今回は次のサイトです。

三康文化研究所附属三康図書館 <http://www.f2.dion.ne.jp/~sanko/>

日本の近代児童文学は、巖谷小波『こがね丸』(明治24年)からその歴史がスタートしたと言われますが、同書を出版したのは明治の大出版社、博文館でした。博文館は、創立15周年となる明治35年に財団法人の図書館を創設します。これが創業者(大橋佐平)の姓を冠する大橋図書館で、その蔵書18万冊を引き継いだのが三康図書館です。

同館の魅力は、何と言っても博文館の出版物を多く所蔵することでしょう。大橋図書館は一般向け図書館でしたが、児童室を設けて子どもにも蔵書を開放するなど、児童書の収集にも力を入れていました。我が国ではじめての本格的な少年雑誌である「少年世界」や、その兄弟誌・姉妹誌である「幼年世界」「少女世界」、また「少年少女譚海」等はいずれも博文館の出版物で、それらの所蔵は国内トップクラス。その他、博文館以外の出版物も多数所蔵する貴重なアーカイブなのです。

その資料は一部(歴史や伝記分野など)を除き、同館HPから検索できるようになっています。また、本コラム第1回でご紹介した「児童書総合目録」にも資料情報が提供されており、他機関と横断的に探すことができます。明治～昭和期の児童雑誌を探す場合、ぜひ検索してみてください。(J)

※ 次号は、資料所在データベース篇〈第6回〉の予定です。

● おわび

前号 資料所在データベース篇 第4回目 神奈川近代文学館の紹介記事で、誤りがありました。下記のとおり訂正させていただきます。

(誤) 関秀雄 → (正) 関英雄

《4》 行って来ました！

昨年末オープンした MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店に行ってきました。安藤忠雄さん設計の広々とした建物、その地下1階から7階までの全てが、本屋さん。日本最大級 200 万冊の品揃えと言われるとおり、その眺めは壮観です。その分、お目当ての本を探すのは慣れないとたいへんかもしれませんが、“座り読み”用イスも所々に置かれ、夜 10 時まで開いているので仕事帰りにも便利です。

さて、児童書は7階フロアの半分を占めています。絵本も読み物も新刊から名作までずらりと並んでいます。日本・海外の作家別や、シリーズ文庫、のりもの絵本・赤ちゃん絵本などの分類の他、しかけ絵本や大人向き絵本の棚もたっぷりとられています。

一角には、児童書フェアとして、「生命を育む」や「知恵を育む」などのテーマで本が選ばれています。今後、こういったテーマで展開されていくのか注目です。児童雑誌のタイトルも多数そろっていて、1階の雑誌フロアと合わせてバックナンバーも充実しています。5階の芸術フロアでは美術系雑誌の絵本特集号なども簡単に手に入りそうです。

6階の理工フロアでは動物や植物の棚に骨の絵本やドングリの絵本があったり、2階文芸フロアには、吉屋信子や露谷虹児の本や、懐かしい昭和の雑貨を扱った本などが並んだ“乙女本”と名づけられた棚があったり…ゆっくり書棚めぐりをすれば、まだまだおもしろい発見ができそうです。(K)

■—————■

【3】全国のイベント紹介

■—————■

● 公開講座「まちに生きる図書館 —生活にいきづく図書館をもとめて—」

会 場：大阪市立中央図書館 5階大会議室

日 時：2月8日(火) 午前10時～午後3時

内 容：〈第1部〉講演会 講師：巽 照子(東近江市立図書館館長)

〈第2部〉交流会

参加費：無料 資料費：100円

定 員：150名

主 催：大阪府子ども文庫連絡会

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報について

では、こちらからご覧ください。↓↓

http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

【4】プレゼント

今号のコラム《1》「ＹＯ！この本読んだ？」で紹介しました『シカゴよりこわい町』（リチャード・ペック/著 斎藤倫子/訳 東京創元社 2001年）を抽選で1名の方にプレゼントします。

ご希望の方は、メールで 件名「IICLO MAGAZINE NO.5 プレゼント希望」とし、(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス (5)このメルマガのご感想 をお書きのうえ office@iiclo.or.jp にお送りください。締切は2月10日(木)、当選発表は発送をもって代えさせていただきます／

編 | 集 | 長 | の | つ | ぶ | や | き |

1年の計は元旦にあり、などという言葉が頭に浮かび、若い頃は、今年1年をどう生きようか、人生の夢は…などと真面目に考えて、すでに6X回目のお正月。それでも大晦日にはすっかり忘れ、一夜明け雑煮をほおばれば、なんとなく心晴れやかに“棚からぼた餅”の夢をふくらませている…実におめでたい！ (A)

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。下記メールアドレスまでお願いします。原則として返信はいたしませんのでご了承ください。

- このメールマガジンは、ご登録いただきました皆様に配信しています。
- 配信の登録・解除・変更は、
http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/index.html パソコンからどうぞ
- このメールの送信アドレスは配信専用です。
- 記事の無断転載はご遠慮ください。

発行：財団法人 大阪国際児童文学館 <http://www.iiclo.or.jp/>

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北 1-2-1 大阪府立中央図書館内

TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582

E-mail：office@iiclo.or.jp
